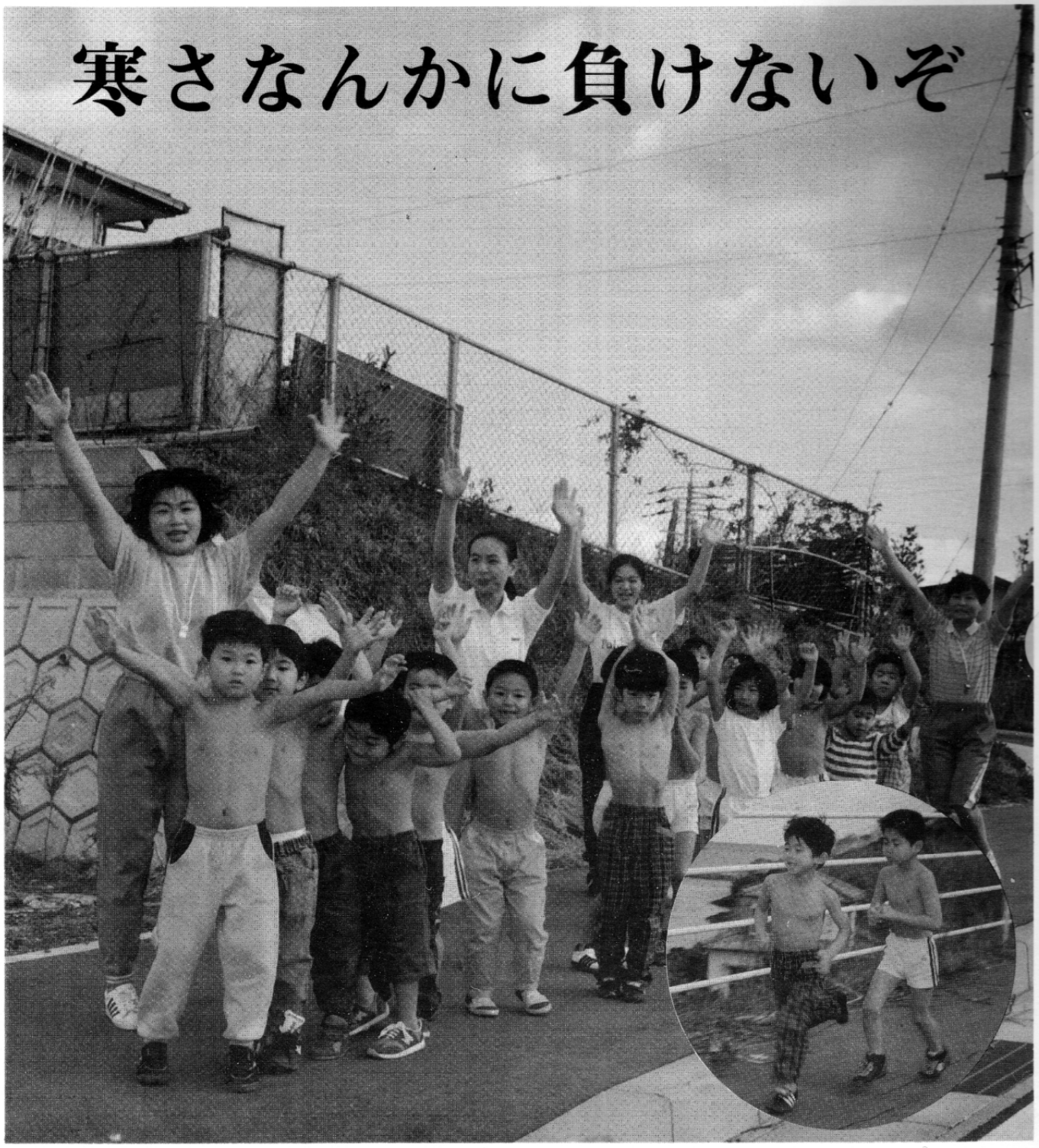
町報
よぶこ
1995
2
No.290



寒さなんかに負けないぞ

二十歳の政治、選挙意識アンケート

二十歳になると「権利」が与えられ、必然的に「義務」も生じてきます。

そこで与えられる「権利」の一つ『選挙権』を、今年、新成人となられた若者を対象にして選挙に関するアンケートを行いました。

当日の出席者は93人（男性44人、女性49人）で、そのうち79人（男性32人、女性47人）から回答をいただきました。

1、あなたはどの選挙に興味がありますか。

衆議院	26人
参議院	6人
県知事	1人
県議会議員	1人
町長	28人
町議会議員	8人

2、あなたが投票する場合、どのような動機で投票しますか。

権利・義務	54人
政党支持	2人
候補者支持	4人
依頼されて	7人
格好が悪い	4人
その他	3人

3、投票を棄権するということは、「棄権も一つの政治への意思表示」だと思いますか。

思う	32人
思わない	13人
わからない	30人
その他	0人

4、不在者投票制度を知っていますか。

知っている	43人
制度は知っているが投票方法は知らない	16人
知らない	18人

5、議会の傍聴をしてみたいと思いますか。

思う	28人
思わない	30人
わからない	18人

6、あなたの意見が今後、政治に反映されていくと思いますか。

反映される	9人
反映されない	37人
わからない	31人

7、あなたの生活にいちばん影響があるのは、どれだと思いますか。

衆議院	16人
参議院	3人
県知事	13人
県議会議員	0人
町長	26人
町議会議員	13人
取締・罰則強化	6人
候補者を知る	18人
その他	1人

8、明るく正しい選挙実現のためにどうしたらよいと思いますか。

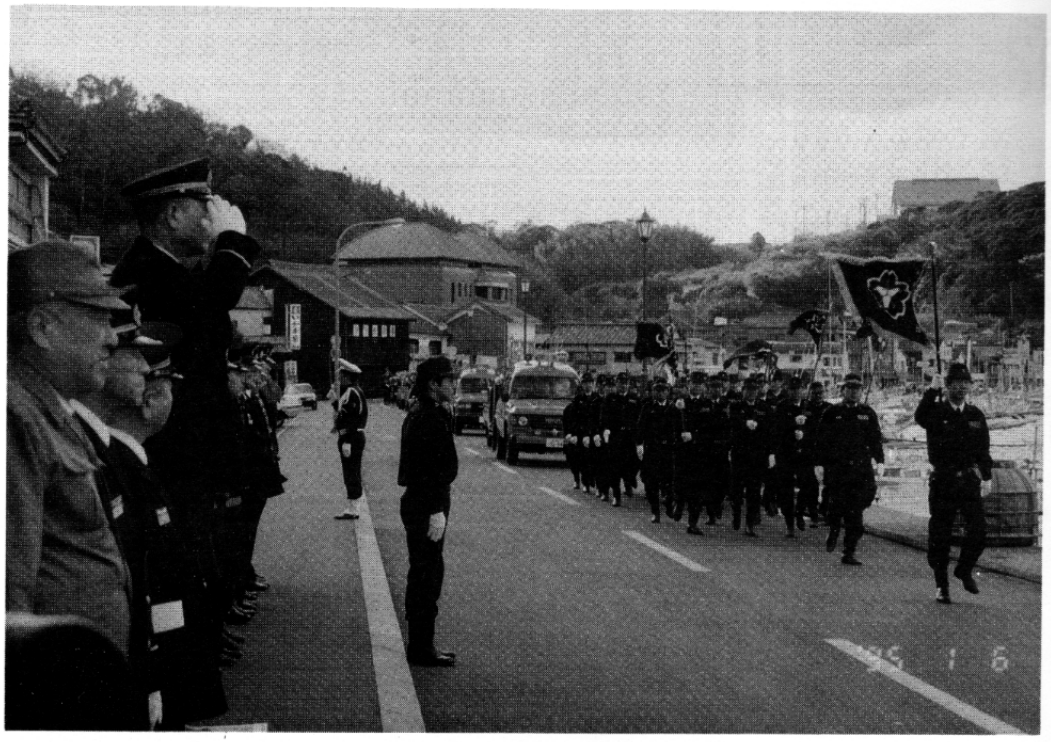
選挙人の自覚	34人
候補者の自覚	15人

9、最近、若年層の投票低下の傾向がありますが、どう思いますか。

政治に無関心	39人
投票しなくても影響がない	7人
仕事が休めない	12人
誰が当選しても同じだから	15人
その他	1人

呼子町消防出初式

―寒風の中 消防団の心意気示す―



1月6日、寒風の吹く中、新春恒例の消防出初式が町内外より多数の来賓の出席を受けて行われ、消防団の心意気を示しました。

午前9時から臨港道路にて約200名の消防団員による分列行進で始まり、社会体育館前の会場では各部ごとの人員並びに服装点検のあと、消防ラッパ隊のラッパ吹奏が披露されました。

続いて社会体育館の式典では、団長の訓辞、町長のあいさつ、来賓の祝辞、各種表彰等がありました。また、予定されていた一斉放水は水不足のため、今回は行われませんでした。

なお、表彰の栄誉を受けられた方々は次のとおりです。

（順不同、敬称略）

1 消防庁長官表彰

◎永年勤続章（15年以上）

元団長 小島克己
元部長 深海一男
元部長 小宮俊彦
〃 堀尾光
元班長 城谷浩美
元団員 藤松久義
元団員 吉川弘幸

4 町長表彰

◎竿頭綬 5年無火災

第2分団第11部（愛宕町）
第4分団第8部（加部島）

◎功績章

団員 平田加代子
〃 小島幸枝

◎優良幹部表彰

部長 松隈雅孝

◎感謝状

元団長 小島克己

5 消防団長表彰

◎優良団員表彰

団員 城谷和寿
〃 坂本義康
〃 内村俊康
〃 山口忠義
〃 山本護
〃 斎藤康
〃 宮本勝吉
〃 木下豊
〃 杉安市
〃 川添隆明
〃 中尾一弘

2 佐賀県消防協会長表彰

◎功績章

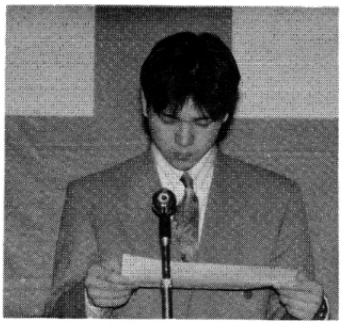
分団長 吉山茂
元部長 深海一男

3 郡町村会長並びに郡消防協会長表彰

◎永年勤続章（10年以上）

元団長 小島克己
元部長 深海一男
〃 堀尾光
〃 山口忠彦
〃 小宮俊彦
〃 渡辺欣也
〃 前川皇司郎
元班長 城谷浩美
〃 浜中豊徳
〃 前川正信
元団員 藤松久義
〃 藤雅彦
〃 小峰美幸
〃 原田博文

呼子町成人式

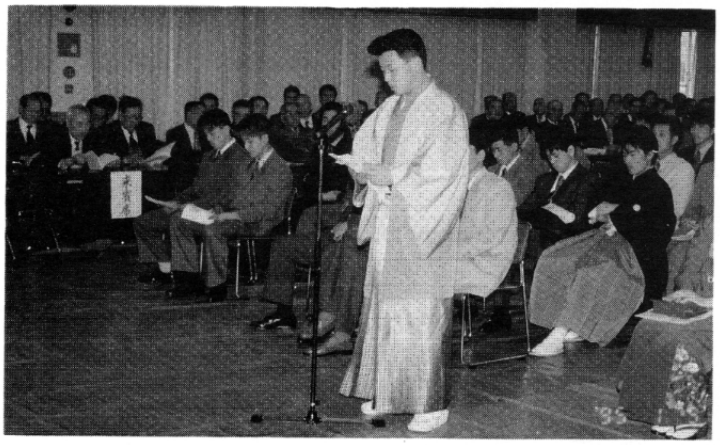


1月5日、社会体育館において午前10時より受付が始まり、新成人93名が出席して成人式が行われました。

新成人の意見は、小川島の山本浩司さんが「若者らしい情熱をもって頑張りたい」そして小友の濱邉好美さんは「これからは責任がついてまわりますが、希望、勇気、信頼の宝をもって世の中の荒波を乗り越えていきたい」と若さあふれる意見を発表されました。

また今回は、初めて手話サークルの皆さんによる歌のプレゼントがあり、「切手のない贈り物」「四季の歌」を歌声と手話で行い、成人者全員見入っていました。

最後に川端町の野中大幹さんの力強い謝辞で式を締めくくり、記念講演ではフリーランスライターの高木末子さんが「トキメキいっぱい、人との出逢い」の演題で人との出逢いのすばらしさをお話しくださいました。



国際交流 呼子編

「国際人に育て」の願いで始まった呼子町の中学生と密陽市の中学生による国際交流も5年になりました。夏には呼子の中学生10名が訪韓し、韓国の生活体験をしてきました。今回は、12月24日から27日まで韓国の中学生が来町し、呼子中学校訪問や呼子の各家庭でのホームステイを通じて日本の生活を体験し、両国の文化・生活の違いや共通点を学びました。中学生の皆さん、来年はあなたが国際体験しませんか。

THE EKIDEN

第５回東松浦郡小学生駅伝大会

健闘した小学生ランナーたち

昨年12月25日、玄海町総合運動場にて第５回東松浦郡小学生駅伝大会が開催され、呼子町は初出場で女子が７チーム中、準優勝、男子が12チーム中、５位の素晴らしい成績をおさめました。

その中で女子は、２区を走った野中悠貴さんと５区の平河りえさんが区間賞を獲得しました。

子供たちに話を聞いてみると、「区間賞を目標にがんばろうと思った。」「３位でもらって前の人について抜こうと思った。」など頼もしい応えが返ってきました。

今までに陸上部のようなクラブで走っているわけでもないのに、このように郡内でもトップレベルにある子供たちですから、今後、本格的もっともっと練習をすれば、呼子町からも名ランナーが生まれてきそうです。

来年は、呼子からもっとたくさんのチームが出場できればと思われます。

《成　　績》

	男　子（13km）	女　子（10km）
優　勝	玄 海 町 47’33”	鎮 西 町 41’12”
準優勝	肥 前 町 47’45”	**呼 子 町 41’16”**
3　位	北波多村 48’11”	肥 前 町 41’27”
4　位	相 知 町 49’21”	北波多村 42’16”
5　位	**呼 子 町 49’32”**	相 知 町 42’34”

第１回東松浦郡町村対抗駅伝大会

１月15日、小学生、中学生、高校生、一般と幅広い年齢層で42.195km（12区間）をたすきリレーする第１回東松浦郡対抗駅伝大会が玄海町総合運動場を中心に行われました。

今回が初めての参加なので、みんな楽しく走ることに意義をもって出場しました。

結果は８チーム中、最下位ではありましたが、１区の小学生から12区の一般男子まで、誰ひとり途中であきらめることなく完走することができました。

また、呼子町の応援団は参加した中でいちばん人数が多く、活気のある素晴らしい応援団でした。

選手が通過するポイントには、必ず応援団が駆けつけ、町旗をふっての応援をしました。

今後も体力つくりやひとつの趣味として、ジョギングが広まればと関係者は期待しています。

《成　　績》

優　勝	肥 前 町	2時間28分11秒
準優勝	相 知 町	2時間28分17秒
3　位	浜 玉 町	2時間30分24秒
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮
8　位	**呼 子 町**	2時間59分26秒

たすきを次のランナーへ

佐賀県市町村職員海外研修報告 2

企画商工観光課　谷口博憲

10月28日(金)

朝食は待望の和食である。ヨーロッパに来て初めて見るご飯、味噌汁、海苔……。和やかな食事風景である。

今日は、グリンツィングの観光局を訪問する予定が変更とのことで、ウィーン観光協会を訪問する。

説明によると今までのヨーロッパにおける観光地は、ロンドン、パリ、ローマであったという。このため、宿泊施設の整備により国際会議の誘致やポスター、パンフレット等に工夫を凝らしている。

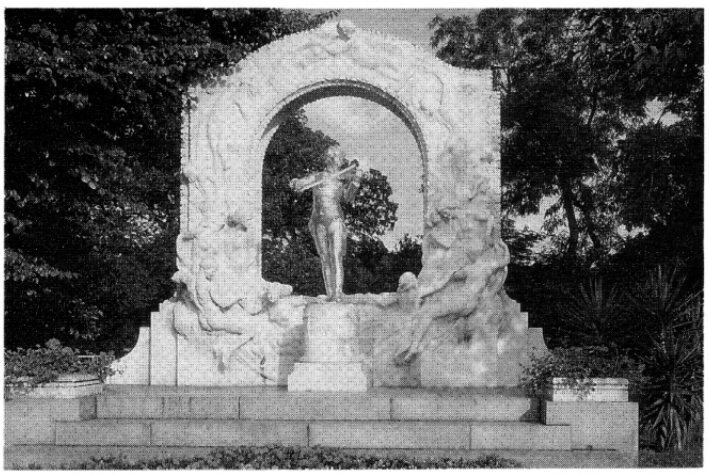
ポスターの標語には「千年生き続ける街・ウィーン」と歴史性を感じさせる言葉を入れたり、パンフレットの表紙には「ウィーン」の文字を、訪れる観光客が多い国の順に5ヵ国語で表示したりしている。もちろん、日本語の表示があったのはいうまでもない。

このことは、市民に対しても自分の町は他の都市とは違うという意識を持たせることと、世界へ売り出すためには芸術や音楽だけでなく、レベルの高い都市づくりをしていく意欲を表現しているように思えた。世は、まさに国際化時代、ソフト面での充実を考えさせられる思いがした。

10月29日(土)

あいにくの雨模様である。朝食を早めに済ませ、ホテルのそばにあるスタッドパーク(市立公園)の森を散策、公園内にある温度計は7℃を指している。少し肌寒さを感じる。

しばらく歩くと「ワルツの王」といわれたヨハンシュトラウスの金色に輝く像と出会う。バイオリンを弾いている姿を見ていると「美しき青きドナウ」のメロディーが流れてきそうである。奥の方にはシューベルトの像がある。31才の若さで短い生涯を閉じた「歌曲の王」、作曲した「未完成交響曲」はやっぱり未完成だったのだろうか。



スタッドパークにある金色に輝くヨハンシュトラウス像

今日は、ウィーンのまちづくりと温泉保養地バーデンバイウィーンの視察である。

市内には、彫刻が施された建造物、記念碑、教会、庁舎等の歴史を感じさせるものが数多く残され、街並みとともに美しいコントラストを描いている。

このバーデンバイウィーンは森とぶどう畑に囲まれた温泉保養地として有名な所で、多くの音楽家たちが保養をしながら作曲活動やコンサートを行った家が残されており、壁面には名前が表示されたり、ベートーベンが「交響曲第九」を作曲した家が、現在、記念館になったりしている。

また、通りに湯煙りが立ちのぼっていないので聞いてみると、鉱泉(冷泉)のため沸かしているという。

この保養地に、多くのヨーロッパ人が訪れるのは、温泉好きというよりもワイン、コンサートの三拍子が揃っているからだろう。観光地、呼子に温泉(鉱泉)のひとつでもと思うのは欲張りだろうか。

10月30日(日)

午前4時起床、北欧の国スウェーデン・ストックホルムへ早朝の移動である。

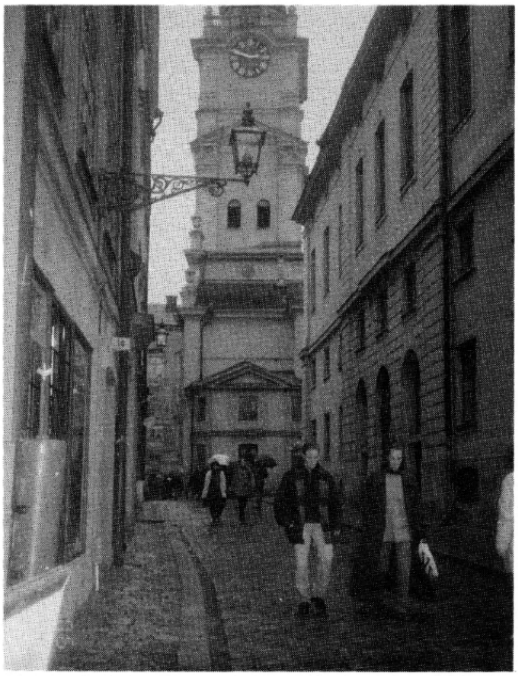
午前5時30分ホテルを出発、ウィーン国際空港を午前7時55分に離陸しデンマークのコペンハーゲン経由でスウェーデン・ストックホルムへ向か

う。機内のスチュワーデスは大柄な身体にブーツを履いていて、さながら北欧という感じがする。

午前11時25分、ストックホルム・アーランダ空港へ到着、空は一面厚い雲に覆われている。

バスは市内へ。昼間というのに車はライトをつけて走っている。これは霧による事故防止のため法規制により義務づけられているという。またここでも高速道路は無料である。

市内に入ると海が見えてくる。通りを横断する細い路地に港町の風情が漂っている。海を見るのは久しぶり、やはり海は心をなごませてくれる。呼子の海がなつかしく思えてくる。明日は世界的に有名なスウェーデンの福祉の研修である。



ストックホルム旧市街地の細い路地

10月31日(月)

朝日が射し込む北欧の朝であったが、ホテルを出発する頃には風が出て空模様が怪しくなってきた。

気温4℃、今日はストックホルム市庁舎において終日研修で、午前中は社会福祉についてである。

説明の中に「老後をどこで暮らしたいか?」というこの国の高齢者調査結果で、50%がケア（介護）付き住宅、30%が自宅、20%が老人ホームであった。このことから、高齢者が寝たきりよりも普通の生活を望んでいることがわかる。

ケア付き住宅は、部屋の広さが60㎡（約19坪）、入居費4～5万円、そしてヘルパー室には24時間、ヘルパーが待機しているという。数千万円はする日本の高級シルバーマンション並みの豪華さである。

日本では車椅子というだけの理由で、老人ホームで生活させられる場合もあるし、一部屋にベッドが4つ置かれ、雑居生活の老人ホームとは、あまりにも違いすぎる。

ケア付き住宅の良さは、高齢者が周りの環境の変化に対応できず、老人ホームに入ったとたん、痴呆・うつ病の症状になることがあるという。

このため生活の継続性を保つ意味で、使い慣れた家具、思い出の絵画や本を持ち込ませたり、遠くに住む子や孫が集まったり、泊まったりして普通の生活が出来るよう大きな部屋に設計されている。

このように、スウェーデンの施設も過去30年間に大きく変わり、個室の老人ホームからケア付き住宅へ、「収容」から「生活の場」へと転換が図られている。

また、共働きが当たり前のスウェーデンでは、介護をするために介護休暇制度と家族ヘルパー制度がある。

介護休暇制度は一人1ヶ月（夫婦で2ヶ月）の有給休暇で、家族の介護をする制度である。家族ヘルパー制度は介護をする家族をヘルパーとして自治体が雇い、パート代を払う制度（付きっきりの介護が必要と行政が判断した場合に限る）である。

このように介護を無償の家事ではなく、労働と位置づけているところが日本と違う。自分の親のオムツを替えたり食事の世話をして、それで給料がもらえることは日本人の感覚では考えられないことである。

ストックホルム市の予算書（1994年）を見ると、高福祉、高負担の様子がよくわかるが、税負担の方も大きく給料が約半分を税金で差し引かれるという。現在、日本の社会で給料の半分を税金として納め、それでも高福祉を求める人が何人いるだろうか。人間の寿命はこれからまだ伸びるという時代に、高福祉であってほしいと願うのは誰でも同じ、国民性の違いだけでは割り切れないものを感じる。

午後からは廃棄物処理についての研修である。

説明によるとストックホルム市は人口70万人、スウェーデン最大の都市で、ゴミの量が1日60tあり、処理料を1戸あたり年間1万4千円を徴収しているという。

この国では①ゴミの絶対量を減らす②ゴミの分別③リサイクルの推進④環境に優しい処理の4つの目標を定めて環境を重視しているという。

市内から20㎞離れた山間部にある危険物処理場には、分別するため多くのコンテナが並べられ、産業廃棄物処理場へ搬送するまでの一時的保管で公害はないという。

視察の最中にも多くの市民が車で来ており、職員の指示に従いながら危険物を分別している光景を見るとゴミに対する教育の必要性を感じた。

青年団だより

～サンタが家にやってきた～

昨年12月18日・24日の両日、「子供たちに夢を与えよう」をテーマに青年団活動として、不用品バザーを行い、その収益金でクリスマスプレゼントを買って子供たちに贈りました。

12月18日は、多くの方々からいただいた家庭の不用品と青年団手作りのかりんとう・わた菓子・ポップコーンなどのバザーを行い、早朝にもかかわらずたくさんの人に来ていただき、大好評のうちに終了することができました。

12月24日の夜は、サンタクロースに扮した青年団員が町内の子供たちにプレゼントを贈りました。

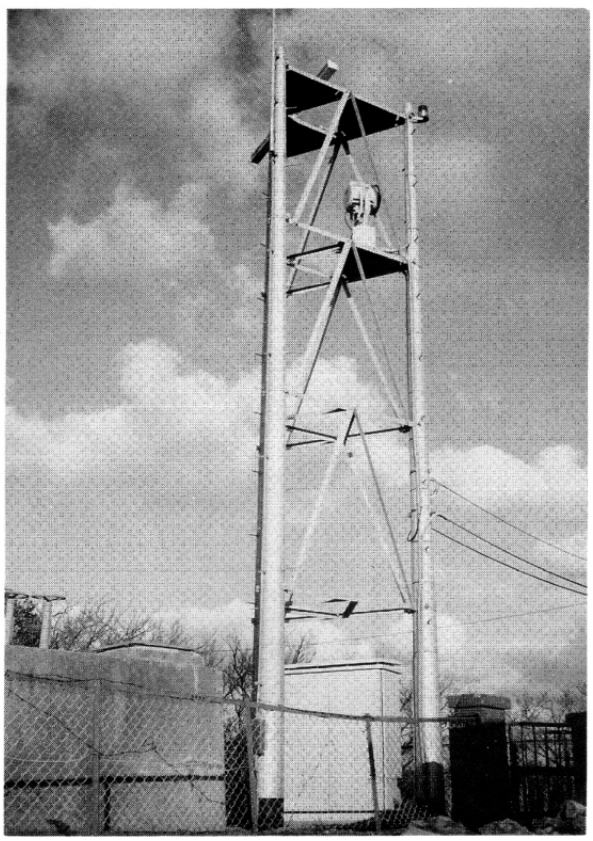
子供たちはサンタから嬉しそうにプレゼントを受け取り、「サンタさん、ありがとう」と恥ずかしそうにいっていました。

中には、来年のプレゼントのリクエストがあったりと楽しい時間が過ぎていきました。

なお、収益金の残金は兵庫県南部地震で被災に遭われた方々へ義援金として送られました。

密漁は許しません！

小川島に密漁監視レーダー設置



小川島漁協（益田新市組合長）では、毎年ウニやアワビの放流を行っていますが、密漁者の侵入により資源は年々減少しています。

その対応策として当漁協が建設をすすめてきた密漁監視レーダー施設が完成し、12月27日に小川島漁村センターにおいて密漁監視所開所式が行われました。

現在までの密漁監視は海士業者が交代で船による監視を行っていましたが、人員や経費の問題で夜間３回の巡回しかできず、監視効果は乏しい状況にありました。

しかし、今回の密漁監視レーダー施設の完成によって、24時間の監視が可能となり、警察署や海上保安部との連絡体制も強化されて監視効果が向上し、これにより密漁者の侵入がなくなり資源の増大及び漁家経営の安定が図られるものと期待されます。

呼子町奨学基金による奨学金（進学一時金）のお知らせ

呼子町奨学基金制度による奨学金受給希望者の申込受付を行っています。

●資　格　本人が平成７年度に大学に進学する人でその父兄が呼子町民であること
●締　切　平成７年２月28日㈫
●申込先　教育委員会　学校教育課

なお、提出書類用紙等は学校教育課にあります。選考は、奨学委員会において審査のうえ決定し、本人に通知いたします。

ご不明な点や詳しい内容は、学校教育課までお問い合わせください。

☎８２－３０１１（内線152）

県政モニター募集

●仕事内容　随時通信、アンケート
会議出席（年２回予定）
●募集人員　25人　依頼期間２年
●応募できる人　20才（平成７年４月１日現在）以上の県民で、議員、公務員、平成４年度以降の県政モニター経験者以外の人
●募集期間　平成７年１月10日㈫～２月10日㈮
●申込方法　官製ハガキに住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、応募の動機を記入
●問合・申込先　〒840－70　県庁　県政情報室
☎ 0952－25－7009

佐賀県くらしのモニター募集

●仕事内容　アンケート調査・物価調査
消費生活相談や役場への取次ぎ
研修会への参加など
●応募資格　呼子町内在住の20才以上の方
●応募方法　企画商工観光課に備え付けの申込用紙で申込んでください
●募集期間　平成７年２月10日㈮～３月10日㈮
●問 合 先　企画商工観光課　☎82－3011

相続登記無料相談

司法書士会では、例年どおり「相続登記はお済みですか月間」を設け、相続が開始されている土地、建物等の財産について点検や確認を呼び掛けています。

相続登記を長年放置しておくとさまざまなトラブルのもとになり、また所有移転の際に登録免許税の負担が大きくなってきます。

そこで、この月間を通じ地域住民へのサービス活動として相続関係の無料相談が実施されますのでご利用ください。

●日　時　２月１日㈬～28日㈫
９:00～15:00（土・日を除く）
●場　所　県内各司法書士事務所

中小企業主の皆さまへ！

『中小企業短時間労働者雇用管理改善等助成金』

中小企業の事業主が、短時間労働者に適用する福利厚生制度を作られた場合は、『中小企業短時間労働者雇用管理改善等助成金』が支払われることになりました。

これは、「短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律」（パートタイム労働法）の施行に伴って創設された制度で、通常の労働者との均衡を考慮して、短時間労働者の福利厚生の充実を目指しています。

この助成金の支給事務を行う「短時間労働援助センター」では短時間労働者雇用管理に関することなど専門的な援助を行っています。

●問 合 先　短時間労働援助センター
☎ 0952－28－4621

《唐津地区精神保健大会》

地域の人々に対して精神保健及びその障害者への理解と知識の普及を図るため開催されます。

●日　時　２月17日㈮　午後12:00～
●場　所　唐津市文化体育館
●講　演　藤崎伸太「私を教えてくれた先生達」
吉牟田美代子「動いて笑って仲間になって」
●その他　映画上映、健康相談、作品展示・即売

短歌

呼子短歌会

風の吹く山道ゆけば秋の陽の落るは早く雲の流るる　日浦歌子
鯨一頭七浦潤う世のたとえ還りて欲しも昔よ今に　石井政幸
一夜さを吾が屋根打ちて雨降れど断水未だ解除にならず　小宮硃鈴恵
寒稽古終えて面取る愛子の拭く汗清く美しき　林猪八郎
冴えかへる夕べ出来し吾が庭にはや咲き初めし白梅匂ふ　山下和子
アドベント最終に入りて四本の蝋燭灯せる御堂明るし　矢野京子
物置となりたる部屋も在りし日は児らと遊べり春の光浴びて　小峰国子
震ふ指に大正琴をひき終へてホッと息つくホーム慰問に　奥野シヅ子
晩年をかく健かに生かされて新年に活くる南天のあけ実　中野小静
草丈の短かきまゝに水仙の畑地覆いて極み咲きをり　浜口エイ子
うたふごと駅の名呼びて柔和なる若き駅員スマートに通る　伊藤公江
讃岐路のうどんは手打ちと受け継がるるそのこだわりののみどうまし　舩坂洋子
厨水に命つなぎし山茶花も今年の色に衰え見せず　小笹博美
切れし雲に夕日のさして水平線茜の帯なす荘厳に佇つ　小出ツギ子
「コロラドの月」を唄ひし日は遠く追憶しばし窓の月みる　伊藤ヒデ子
時折りに猫鳥が啼き雲間より洩るる陽の光波にうつらふ　小笹妙子
予期せざる吹雪となりて逆浪をたつる河原に野鳥も飛ばず　中川さわ

こんにちは保健婦です

風邪予防

―風邪の季節の自衛策―

一月からインフルエンザが流行し県内でも多くの学校で学級閉鎖となっています。今年のインフルエンザは3種類のウイルスが原因だと言われており、いったん症状が出現すると治りにくく長引く傾向があります。ここで今回は、かぜ予防の三原則について皆さんご存じとは思いますが再度お話したいと思います。

★風邪を予防するために

風邪を予防するためには、日頃から健康管理が大切です。というのも、風邪の初期症状が出始めた時には、もうかなりウイルスなどに侵入されているからです。ウイルスに対する抵抗力をつけるには、栄養状態をよくすること、睡眠を十分にとること、体を動かし体力をつけておくことです。そして外出から帰ってきたら必ず、うがいと手洗いを忘れないことです。また人込みの多い場所に出入りする時は、マスクも欠かせません。「マスク、うがい、手洗いが風邪を予防するための三原則だ」とよく言われていますがその効果を皆さんご存じですか？マスクとうがいについては、容易に想像がつくと思いますがこれは、クシャミ等を通してウイルスを口や鼻の粘膜から吸い込まないようにするためです。それでは手洗いは何のために行うのでしょうか？久留米大学の市川助教授の話によると「いわゆる鼻かぜを防ぐため」だと言われています。

鼻風邪は、ライノウイルスというウイルスによっておこり、手から手へ、接触によってうつります。もし鼻かぜをひいた人が鼻をかんだり目をこすったりした手、これに触れると、触れた人の手にはすでにライノウイルスがついているので、その手で目や鼻をこすれば、結膜や鼻粘膜からライノウイルスが侵入して増殖、結局鼻風邪をひいてしまうというわけです。

日頃からしっかり体の抵抗力をつけて風邪予防に心がけましょう。

みんなの広場

兵庫県南部地震による被災者へのお見舞い

先月17日朝、兵庫県南部地震が起こり、多数の死者、負傷者、行方不明者が出ています。

震災にあったこの地方では物資が不足し、日常生活が元の状態に戻るまでには、まだまだ時間がかかり、いかに大きな地震であったかを物語っています。

日本赤十字社や全国の社会福祉協議会では、皆さまからの義援金等を受付けています。

なお、募金箱は役場窓口と老人福祉センターに設置し、募金を受付けております。

被災に遭われた方々へ皆さまの温かい善意を。

役場窓口に設置されている義援金募金箱

町県民税申告日程

2月16日(木) 小川島（小川島漁村センター）
17日(金) 〃
20日(月) 片　島（片島公民館）午前中
23日(木) 税務署係官による申告指導
24日(金) 〃
27日(月) 加部島（加部島開発総合センター）
28日(火) 〃
3月1日(水) 先方町、海士町（社会体育館）
2日(木) 税務署係官による申告指導
3日(金) 釣町、小倉町、西中町（社会体育館）
6日(月) 中町、宮ノ町、天満町（社会体育館）
7日(火) 松浦町（社会体育館）
8日(水) 川端町（社会体育館）
9日(木) 愛宕町（社会体育館）
10日(金) 殿ノ浦岡、西、浜（社会体育館）
13日(月) 小友、大友（社会体育館）
14日(火) 予備日
15日(水) 〃

町税の納期のお知らせ

国民健康保険税　第8期
固定資産税　第4期

納期限　平成7年2月28日

納税には便利な口座振替のご利用を！

くらしのカレンダー

1日(水)	◇胃ガン検診	8時30分～10時	呼子町漁協
	◆子宮ガン検診	13時～14時	呼子町漁協
6日(月)	◇心配ごと・人権相談	9時～12時	老人福祉センター
	◇保育所入所申請	11時20分～12時50分	小川島漁村センター
7日(火)	◇保育所入所申請	13時30分～	加部島開発センター
8日(水)	◆機能訓練	13時30分～15時30分	社会体育館
	◇保育所入所申請（8～10日）	9時～17時	社会体育館
13日(月)	◇心配ごと相談	9時～12時	老人福祉センター
	◆健康相談	13時30分～15時30分	小友集会所
15日(水)	◆機能訓練	13時30分～15時30分	社会体育館
	◇介護者教室	13時30分～15時30分	デイサービスセンター
20日(月)	◇心配ごと相談	9時～12時	老人福祉センター
	◆健康相談	13時30分～15時30分	社会体育館
	◆乳児相談		
	◆歯科相談		
21日(火)	◇ふれあい昼食会	11時30分～	社会体育館
22日(水)	◆機能訓練	13時30分～15時30分	社会体育館
26日(日)	◇天満宮うそ替祭り		天満宮
27日(月)	◇心配ごと相談	9時～12時	老人福祉センター
	◆健康相談	13時30分～14時30分	片島公民館

明暗

（敬称略）

こんにちは赤ちゃん

辻村　信祐（修　長男）　加部島
辻村　優希（修　二男）　加部島
森　美幸（昌司　二女）　加部島
川添　愛美（慶幸　二女）　小川島

おくやみ

江口達郎　101才　中町
野上國夫　65才　天満町
大石和行　34才　川端町
久我義光　76才　殿浦岡

香典返しお礼

篠原　紘（故父　新）
野上タツエ（故夫　國夫）
大石智恵美（故夫　和行）

あとがき

▼戦後最大ともいえる惨事となり数多くの犠牲者をだした兵庫県南部地震。神戸を中心とした近代的な街も、自然の計り知れない偉大な破壊力に電気・ガス・水道がストップし、あちこちで火災も起こり倒れたビルなどによって交通網も寸断され壊滅状態に追い込まれてしまった。

▼比較的災害の少ない私たちが住むこの町で、もしこのような災害が起きたらと思うとゾッとしてしまう。今一度、ご家庭でも防災について考えてみるべきではないでしょうか。　Ⓝ

人の動き

12月31日現在（前月との比較）

総人口	6,932人	（－ 2）
男	3,307人	（－ 6）
女	3,625人	（＋ 4）
世帯数	2,119世帯	（－ 2）

発行／呼子町　編集／企画商工観光課　印刷／㈱ニオカ印刷